

原水爆禁止2010年世界大会代表派遣 News

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03-5842-6031 FAX:03-5842-6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2010年7月5日 No.8 国際会議まであと28日

被爆地広島青年たちが被爆者訪問を準備

いよいよ世界大会まで4週間となりました。被爆地広島の青年実行委員会は被爆者訪問を準備しています。

広島現地青年実行委員長でNPTニューヨーク行動に参加した上辻真由香さん(広島大学2年)は、「全国のみなさんを待っています」と話しています。

青年たちは毎週実行委員会を開催し、7月18日には広島県北西部、広島市北端に位置する広島市安佐北区安佐町飯室へ被爆者訪問に行くプレ企画を予定しています。

NPTニューヨーク行動で得た力を確信に世界大会の成功を

第56回原水爆禁止四国大会ひらく

原水爆禁止のブロック大会である四国大会が6月19、20日、高知市で行われました。参加者からは、NPT再検討会議の前進に果たした地域活動に確信をもった発言が相次ぎました。

記念講演した日本原水協の高草木博事務局長は、NPT再検討会議に提出した691万人分の「核兵器のない世界を」署名が参加者を大きく励ましたと紹介。「運動と世論で核兵器廃絶はもはや押しとどめることができない力になった。NPT再検討会議で確認されたことを確信に、さらに取り組みを広げよう」と話しました。

20日には 被爆者・原爆症認定訴訟 核兵器のない世界を署名運動など4分科会で討論が行われました。第4分科会ではNPTニューヨーク行動に参加した5人が報告。「熱い想いで集めた署名が世界を動かした」と確信が語られました。そして夏の世界大会参加、秋の国連総会への署名提出、2015年NPT再検討会議に向けたとりくみを強めようと話し合いました。56回を重ねた原水爆禁止四国大会、来年は愛媛県で開催されます。



講演する高草木事務局長(6月19日、高知城ホール)

【北海道】函館港に米海軍艦船「ガーディアン」入港を通告(7/8~7/12)



在日米海軍佐世保基地(長崎県)を拠点とする掃海艦「ガーディアン」(1312 排水トン)が、7月8日(木)午前10時から、12日(月)10時まで函館市の函館港に入港することを外務省日米安全保障条約課から通告してきました。目的は親善・友好訪問としています。

北海道原水協の岩淵尚事務局長は、6月15日付けで米軍艦船入港に関する函館市長の照会に対して外務省北米局日米安全保障条約課長から出された文書で「我が国政府としては、現時点において、核兵器を搭載する米国艦船の我が国への寄港はないと判断しています」という回答に、核密約問題に関してこの間政府が取り続けてきている態度とまったく一緒だと指摘します。

「何か事が起きてからでは遅い。常に話し合える雰囲気を作っておかなければならない」と話す岩淵事務局長は、7月1日には小樽市を訪れ、懇談を行いました。



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/Gpress/>
携帯電話からもアクセスできます。